



「ルールを守る」という強い意志が、大切な命を救う

いよいよ、待ちに待った夏休みが近づいてきました。部活動に打ち込んだり、自分の好きなことに時間を費やしたりと、今からワクワクしている人も多いでしょう。しかし、開放的な気分になる夏だからこそ、一瞬の油断や「これくらい大丈夫」という甘い考えが、取り返しのつかない大事故につながる可能性があります。

実は最近、地域の方々から、みんなの安全を心配する声や、ルール違反に対する苦情のお電話が学校に続けて届いています。地域の人たちは、みんなのことが憎くて怒っているのではありません。「危ない!命を落としてほしくない!」という必死の思いで、学校に連絡をくれています。

ルール(規範)を守るということは、単に「怒られないようにする」ことではありません。「自分と周りの人の命を守るための、社会全体の約束事」です。この夏、全員が絶対に守らなければならない「3つの命の約束」を伝えます。

交通ルールを徹底して守る

最近、「自転車で横に広がって走っていて危ない」「信号無視をしている」「車道の真ん中を走っている」「一時停止をせずに走っている」という苦情が寄せられています。

自転車の並進(横に並んで走る)は絶対に禁止です。一列で、道路の左側を走りましょう。

交差点では必ず一時停止と左右の安全確認をすること。

ヘルメットを正しく着用してください。

車とぶつかれば、命を落とすのは自分自身です。また、もし歩行者にぶつかって怪我をさせれば、「被害者」ではなく、誰かの人生を奪う「加害者」になってしまいます。交通ルールという「社会のきまり」を守ることは、自分と他人の命の双方を守る第一歩です。

海や池、川への飛び込みは「絶対禁止」

地域の皆様から「中学生が危険な場所に集まって、飛び込もうとしている」「危なくて見ていられない」という、非常に緊迫した苦情の電話がかかってきています。

遊泳禁止の場所、監視員のいない海や川、そして農業用の池などには絶対に近づかない、飛び込まないこと。

危険な場所に入らないという規範意識を持つことは、自分の命に対する責任を持つことと同じです。

花火は「生徒だけ」では絶対にしない

夏の楽しい思い出になるはずの花火ですが、一歩間違えれば大火災や大怪我につながる「危険物」です。

花火をするときは、必ず保護者(大人)と一緒に行ってください。

生徒たちだけで集まっての花火は絶対に禁止します。

夜遅くに公園などで騒ぐ行為は、近隣の住民の方々にとって大きな迷惑になります。

「これくらいなら見つからないだろう」という規範意識の緩みが、大きなトラブルを引き起こします。決められた場所、決められた時間を守り、片付けまで大人と一緒に行うのが、正しい社会のルールです。

生徒のみなさんへ：自分の行動に「誇り」と「責任」をもとう

ルールやマナーは、みんなを縛り付けるためのものではありません。「みんなの命を守るため」、そして「大切な家族や友だちを悲しませないため」にあるものです。

「みんなやってるし」「少しくらいなら」という弱い心に負けないでください。正しい判断をし、ルールを実践する「強い規範意識」を持つことこそが、本当の自立です。自分の命を自分で守り、地域からも信頼される中学生として、最高の夏休みを過ごしてください。

保護者の皆様へ

地域から寄せられるお声は、子どもたちの安全を願う「地域の目」そのものです。学校でも繰り返し指導いたしますが、行動範囲が広がる夏休み期間中は、ご家庭でのルールづくりと一声が何よりの抑止力となります。

ぜひ、この通信をご家庭で一緒に読みながら、「命の重さ」と「社会のルールを守ることの大切さ」について、改めてお話し合っていただければ幸いです。よろしくお願いいたします。